

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO 認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 15日

学校名 福井市和田小学校

校長氏名 勝木 孝一

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 5年生を中心に、環境学習に取り組めます。
- ② 学校で節電・節水に努めます。
- ③ 地域と連携し、資源のリサイクルに努めます。

2 取組内容

- ① 環境教育・学習
 - ・持ち物を大切にするように、児童を指導します。
 - ・5年生の総合的な学習において、「福井の自然を未来へつなごう」というテーマのもと、自然環境を守っていくために自分たちが今できることを考え、実践していきます。
- ② 節電・節水の取組
 - ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消すようにします。
 - ・環境委員会が作成したポスターを掲示し、節電や節水を呼びかけます。
- ③ リサイクル・ごみ減量の取組
 - ・PTA や地域と連携して、インクカートリッジ、牛乳パック、制服や体操服などの回収とリサイクルに取り組めます。
 - ・各教室に古紙回収ボックスを設置し、SDGs 委員会が定期的に回収します。
 - ・給食委員会が不要な紙で箱を作り、給食用のごみ箱として再利用します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③の SDGs 委員会や給食委員会の取組みでは、不要になったものを再利用し有効に使う力を身に付ける。また、児童が協力しながら主体的に行動する能力を身に付ける。

(多面的・協力・参加)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

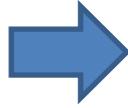
<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">和田小学校</h1>		
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境学習に取り組みます。 ② 学校で節電・節水・資源回収に努めます。 ③ 地域と連携し、リサイクル・分別に努めます。 		
<p>2 取り組み内容</p> <p>① 環境学習の取組</p> <p>・5年生の総合的な学習では、「福井の自然を未来へつなごう」というテーマのもと、米作りに適した福井の自然環境と現在の環境問題を調べる活動や米作り体験を通して、自分たちが今できることを考え、実践に結びました。</p>		
<p>疑問「福井のお米のおいしさの秘密はなんだろう？」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◆米の作り方を学ぶ。</p>  <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◆田植えを体験する。</p>  <p>【「一乗谷あさくら道の駅」にて】</p> <p>◆「バケツ稲」に挑戦する。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>ただの土ではなく、三種の土を混ぜて作った。</p> </div>	<p>予想おいしい米には「水」が関係ある？</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◆おいしい米で有名な大野市を訪ねる。</p> <p>◆大野と和田地区の水を観察比較するために「御清水」を見学し、「きれいな水」がおいしい米を育てることを捉える。</p>  <p>【「御清水」にて冷たさやおいしさを体験する】</p>  <p>【「イトヨの里」にて】</p>	<p>◆稲刈り体験をする。</p> <p style="text-align: center;">↓</p>   <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>小さな粒からたくさんのお米が実ることを実感し、自然の偉大さを感じた。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>◆収穫した米でご飯を炊いて味わう。</p> <p>まとめ「きれいな水」を守ることが食を守り、ひいては人や生き物の命を守ることにつながる。環境を守るために、自分が今できることを考えて実践することが環境を守るために大切であると実感できた。</p> 

② 節電・節水・資源回収の取組

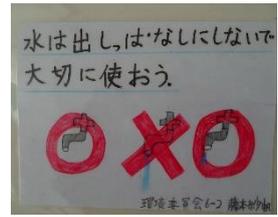
- ・各教室に、古紙を集める回収ボックスを設置しました。集まった古紙は、環境委員が当番を決めて週に1回程度回収し、PTAの資源回収に出しました。



【各教室から古紙を回収】



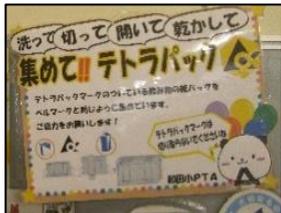
【古紙を縛って倉庫へ】



【ポスターで呼びかける】

③ 地域と連携してのリサイクルの取組

- ・分別回収活動・家庭・地域と協力して、空き缶やテトラパック(牛乳パック)、インクカートリッジの回収を行いました。



【テトラパック・インクカートリッジリサイクルコーナー】



【空き缶リサイクルコーナー】

- ・空き缶の回収を進めるために、SDGs委員会が、リサイクルの大切さや手順を説明し、全校に空き缶回収を呼びかけました。



みなさん、ぼくたち
アルミ缶をすてな
いで、リサイクルし
ましょう！

★ ESDポイント

- ①の環境学習を通して、人間も含め生き物は、その周辺の環境や生物と関わり合いながら生きていることを学び、水や空気などの環境を守ることの重要性を、実感を伴って理解することができました。

3
見直し

【具体的効果】

- ① 総合的な学習の時間に体験活動を通して身の回りの環境を学習することにより、児童の中に自然環境を大切にしようとする意識が育ってきています。
- ② テトラパック、インクカートリッジの回収は家庭にも浸透し、PTAのベルマーク部の協力を得ながら、定期的な回収を行うことができました。
- ③ 委員会活動で古紙回収や空き缶回収を呼びかけることで、リユースやリサイクルの大切さを意識させ、実践への意欲を高めることができました。

【改善点】

- ・保護者や地域の方に、学校での取り組みを分かりやすく広め、地域の環境に対する意識をさらに高めていきたいです。
- ・活動の方法や状況について、児童と話し合う時間を設け、教師と児童がともに考えながら活動を広めていくようにしていきたいです。